



福井労働局発表  
平成29年9月29日(金)

担当

福井労働局雇用環境・均等室  
室長 森田 邦子  
監理官 高柳 純子  
室長補佐 上野 郁  
電話 (0776) 22-3947

## 職場のハラスメントに関するアンケート調査の結果を公表します

～ハラスメントを受けても会社の相談窓口を利用する者は1割程度に留まる～

福井労働局(局長 早木武夫)は、職場におけるセクシュアルハラスメント(以下「セクハラ」と言う)及びパワーハラスメント(以下「パワハラ」と言う)等ハラスメントの実態を把握するため、初めて県内の事業所に対してアンケート調査を実施し、この度、調査結果をとりまとめましたので公表します。

福井労働局では、今回の調査結果を踏まえ、相談窓口の設置・周知や相談しやすい環境作りを始め、実効あるハラスメント防止措置が講じられるよう、引き続き、事業所指導や啓発を行います。

### 【結果のポイント】

- 1 何らかのセクハラ防止措置を講じているとの回答は88.4%、何らかのパワハラ防止措置を講じているとの回答は80.0%であった。
- 2 「会社でセクハラ事案が発生した(3年以内)」との回答は10.0%、「会社でパワハラ事案が発生した(3年以内)」との回答は13.6%であった。
- 3 「セクハラを受けた、セクハラと感じたことがある」との回答は17.6%、「パワハラを受けた、パワハラと感じたことがある」との回答は21.6%であった。
- 4 上記3のうち、セクハラを「相談しなかった」との回答が36.4%、パワハラを「相談しなかった」との回答が31.5%であった。
- 5 上記3のうち、セクハラを「会社の相談窓口に相談した」との回答は11.4%、パワハラを「会社の相談窓口に相談した」との回答は7.4%で、会社の相談窓口の利用がわずか1割程度だった。
- 6 「いわゆるマタハラ(妊娠・出産・育児・介護休業取得者等に対する嫌がらせ等)を自社で見たり聞いたり受けたりした(3年以内)」との回答は6.4%であった。

### 【アンケート調査の方法】

平成29年7月20日(木)、26日(水)に福井労働局が開催した「改正育児・介護休業法及び労働行政関係助成金説明会」に参加した事業主、人事労務担当者等に対し、アンケート調査を実施。

男性140名、女性110名、合計250名から回答があった。

結果の詳細は、別添「職場のハラスメントに関するアンケート調査の結果」をご覧ください。

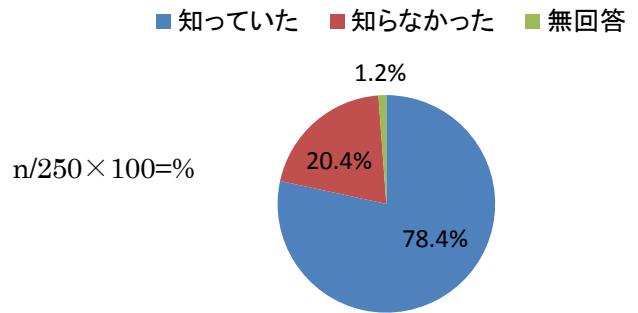
(参考配布)「職場でつらい思いしていませんか?職場でのあらゆるハラスメントは許されません!」

## 職場のハラスメントに関するアンケート調査の結果

### 1 同性の間でもセクハラになると知っていた

①知っていた	196人
②知らなかった	51人
③無回答	3人

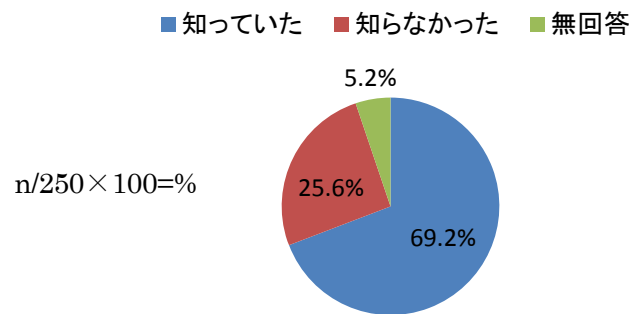
図1 同性の間でもセクハラになると知っていた



### 2 LGBTの者へのセクハラを知っていた

①知っていた	173人
②知らなかった	64人
③無回答	13人

図2 LGBTの者へのセクハラを知っていた



#### 【LGBTとは】

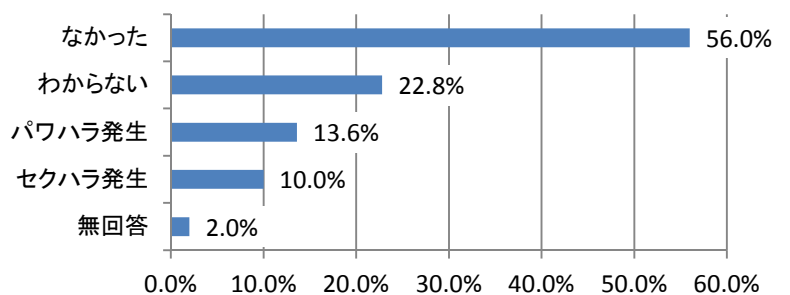
レズビアン（女性同性愛者）、ゲイ（男性同性愛者）、バイセクシュアル（両性愛者）、トランスジェンダー（出生時に診断された性と自認する性の不一致）の頭文字をとった略称。

男女雇用機会均等法は、異性への性的言動、同性間での性的言動、LGBTの方への性的言動もセクシュアルハラスメント防止対策の対象としている。

### 3 会社でセクハラ事案又はパワハラ事案が発生した（3年以内）（複数回答可）

①セクハラが発生した	25人
②パワハラが発生した	34人
③なかった	140人
④わからない	57人
⑤無回答	5人

図3 会社でセクハラ事案又はパワハラ事案が発生した（3年以内）

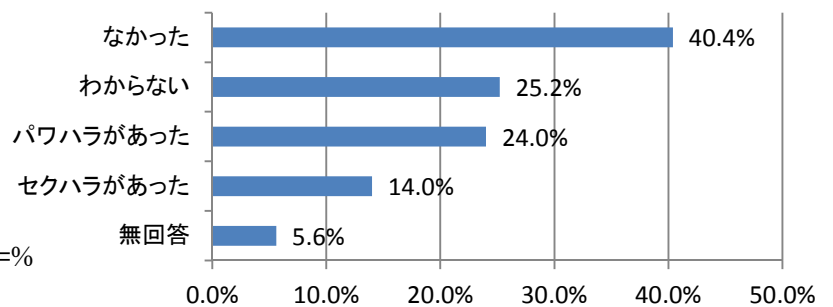


4 セクハラ又はパワハラ相談まではないものの、自社で見たり聞いたり受けたりした（3年以内）  
（複数回答可）

①セクハラがあった	35人
②パワハラがあった	60人
③なかった	101人
④わからない	63人
⑤無回答	14人

$n/250 \times 100 = \%$

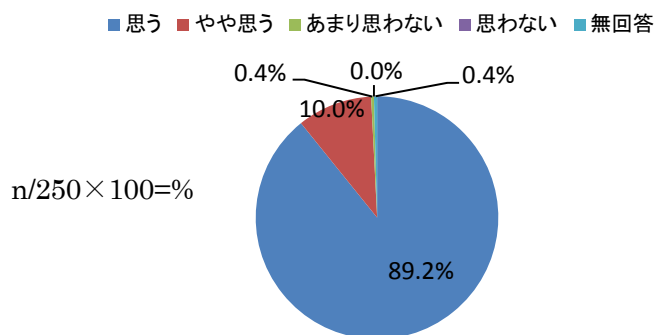
図4 セクハラ又はパワハラ相談まではないものの、自社で見たり聞いたり受けたりした



5 セクハラは問題だと思う

①思う	223人
②やや思う	25人
③あまり思わない	1人
④思わない	0人
⑤無回答	1人

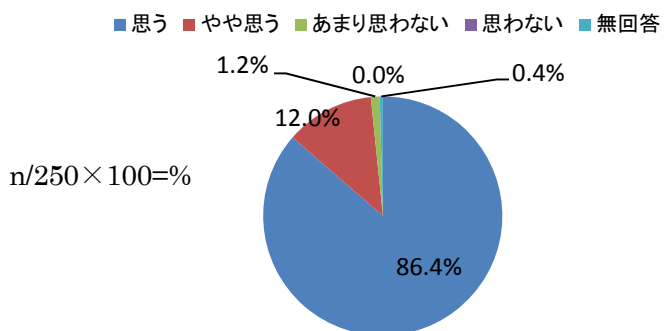
図5 セクハラは問題だと思う



6 パワハラは問題だと思う

①思う	216人
②やや思う	30人
③あまり思わない	3人
④思わない	0人
⑤無回答	1人

図6 パワハラは問題だと思う



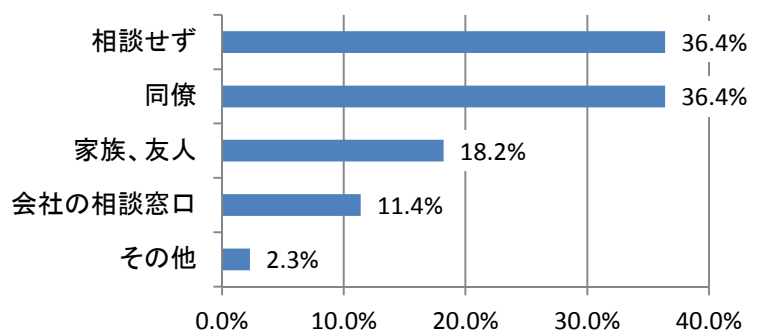
7 セクハラを受けた、セクハラと感じたとき、誰かに相談したか（複数回答可）

①会社の相談窓口相談	5人
②家族、友人	8人
③同僚	16人
④相談しなかった	16人
⑤その他	1人

※実数 44名  
 $n/44 \times 100 = \%$

発生率：  $44/250 \times 100 = 17.6\%$

図7 セクハラを受けた、セクハラと感じたとき誰かに相談したか



【質問7 セクハラを誰に相談したかの男女別の内訳】

過去に「セクハラを受けた、セクハラと感じた」との回答は44人(17.6%)であった。そのうち、男性は「相談しなかった」との回答が最も多く53.8%であった。

女性は「同僚」に相談との回答が最も多く42.0%だが、「会社の相談窓口」は6.5%と低かった。

会社の相談窓口の利用が11.4%と低く、会社にセクハラ情報が伝わりにくい状況である。

	男性	女性	合計
セクハラを受けた・感じた	13人	31人	44人
会社の相談窓口	3人(23.1%)	2人(6.5%)	5人(11.4%)
家族、友人	1人(7.7%)	7人(22.6%)	8人(18.2%)
同僚	3人(23.1%)	13人(42.0%)	16人(36.4%)
相談しなかった	7人(53.8%)	9人(29.0%)	16人(36.4%)
その他	0	1人(3.2%)	1人(2.3%)

複数回答

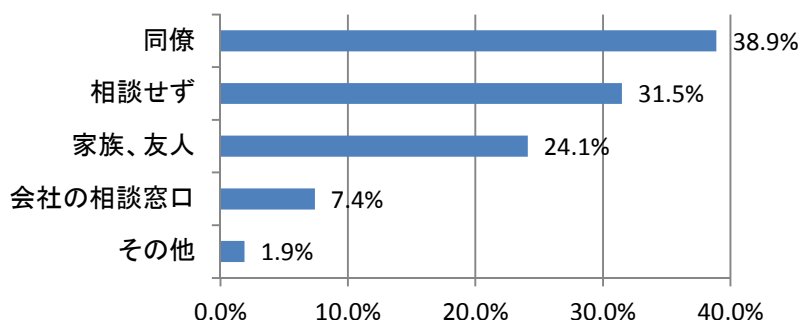
8 パワハラを受けた、パワハラと感じたとき、誰かに相談したか(複数回答可)

- ①会社の相談窓口 4人
- ②家族、友人 13人
- ③同僚 21人
- ④相談しなかった 17人
- ⑤その他 1人

※実数54名  
n/54×100=%

発生率：54/250×100=21.6%

図8 パワハラを受けた、パワハラと感じたとき誰かに相談したか



【質問8 パワハラを誰に相談したかの男女別の内訳】

過去に「パワハラを受けた、パワハラと感じた」との回答は54人(21.6%)であった。男性は「相談しなかった」との回答が最も多く40.7%であった。

女性は「同僚」に相談したとの回答が最も多く48.1%だったが、「会社の相談窓口」は0件だった。

会社の相談窓口の利用が7.4%と低く、会社にパワハラ情報が伝わりにくい状況である。

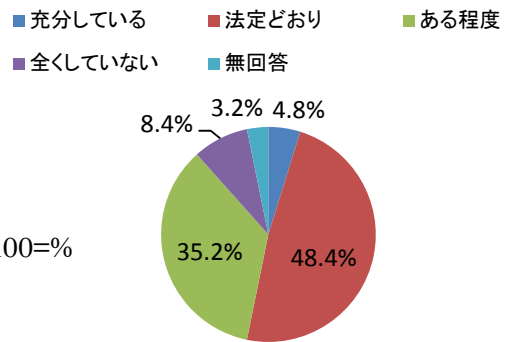
	男性	女性	合計
パワハラを受けた・感じた	27人	27人	54人
会社の相談窓口	4人(14.8%)	0人	4人(7.4%)
家族、友人	4人(14.8%)	9人(33.3%)	13人(24.1%)
同僚	8人(29.6%)	13人(48.1%)	21人(38.9%)
相談しなかった	11人(40.7%)	6人(22.2%)	17人(31.5%)
その他	1人(3.7%)	0人	1人(1.9%)

複数回答

9 あなたの会社のセクハラ防止措置は十分されているか

- ①十分にしている 12人
- ②法定で定めることはしている 121人
- ③ある程度している 88人
- ④全くしていない 21人
- ⑤無回答 8人

図9 あなたの会社のセクハラ防止措置は十分されているか



$n/250 \times 100 = \%$

【セクハラ防止措置を講じている会社のセクハラの発生状況】

質問9でセクハラ防止措置を「十分にしている」「法で定めることはしている」をあわせた回答(133人)のうち、質問3で「セクハラが発生した」との回答は15人(11.3%)であった。

セクハラ防止措置を「ある程度している」「全くしていない」との回答(109人)のうち、質問3で「セクハラが発生した」との回答は10人(9.2%)であった。

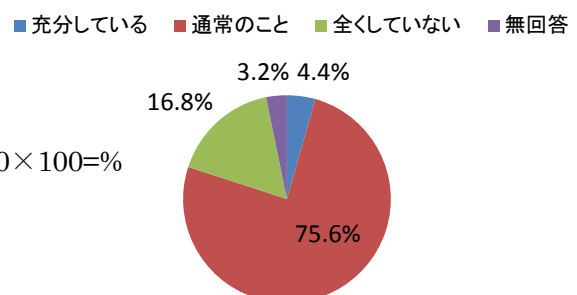
法で定める以上の措置を講じている会社の方が、セクハラ事案が発生している割合が高くなる傾向がみられるが、これは措置を講じている方が、事案が発生しやすいと言うよりは、措置を講じることによって相談がよせられた、事案の認知度が高まることによって発生割合が高まったと推測される。

質問9セクハラ防止措置を講じているか(A)	質問3会社でセクハラ事案が発生した(3年以内)(B)	発生率 (B)/(A)×100
十分にしている	2人	16.7%
法で定めることはしている	13人	10.7%
ある程度講じている	9人	10.2%
全くしていない	1人	4.8%
無回答	0人	—
合計	25人	10.0%

10 あなたの会社のパワハラ防止措置は十分されているか

- ①充分している 11人
- ②通常のことはしている 189人
- ③全くしていない 42人
- ⑤無回答 8人

図10 あなたの会社のパワハラ防止措置は十分されているか

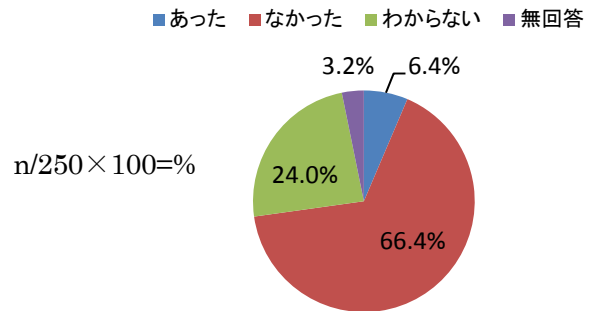


$n/250 \times 100 = \%$

11 いわゆるマタハラ（妊娠・出産・育児・介護休業取得者等に対する嫌がらせ等）を自社で見たり聞いたり受けたりした（3年以内）

①あった	16人
②なかった	166人
③わからない	60人
④無回答	8人

図 11 いわゆるマタハラを自社で見たり聞いたり受けたりした



12 各種ハラスメントを防止するために効果的なものは何か（複数回答可）

①事業主、管理職の意識改革	169人
②相談しやすい環境整備	162人
③従業員の意識改革	143人
④ポスター掲示	78人
⑤定期的な研修の実施	78人
⑥事例の配布	55人
⑦社内罰則の強化	54人
⑧自己防衛	28人
⑨その他	3人

図 12 各種ハラスメントを防止するために効果的なものは何か

